

8月13日(日)物故者追悼法要

8月13日に物故者追悼法要が盆踊り前に小垣江小体育館で行われました。例年通り、8寺院のご住職が御経を唱え、亡くなった方々のご冥福を祈って供養をしました。来賓には、県議会議員・市議会議員、各団体の代表者の方々にご臨席いただき、参列者は焼香で故人をしのびました。例年だとやぐらの前でおこなわれていた追悼法要ですので、最後にやぐら前で参列者と集合写真を撮りました。亡くなった方々も、近親者の成長を確認でき、喜んでいただけたのではないのでしょうか？



8月13日(日)～8月15日(水)小垣江、犬ヶ坪盆踊り

8月13日～8月15日にかけて小垣江盆踊り大会が行われました。今年も青年団が中心となり、大会前の盆踊りの練習や、やぐらの準備など精力的にこなしていました。初日となる13日の天候は、夜になると1時間程度の雨に見舞われましたが、その後無事開催する事ができました。盆踊りの曲は「Let's Try! Go! Go!」、「とんちんかんちん一休さん」、「ハッピーロック」など、小垣江区民であれば一度は夏に聞いた事のある曲で、参加者のみなさんが楽しそうに踊っていたのがうかがえました。15日の犬ヶ坪での盆踊りは台風の影響で中止になり残念ではありません。こういった風物詩は小垣江区民の楽しみだと思いますので、来年は何事もなく開催できてほしいものです。



8月1日(火)、2日(水)ほか 早朝ラジオ体操

夏休みの早朝といえばラジオ体操！今年も8月中に地区内の公園で多くの方々が参加してラジオ体操を行いました。7月中に回覧版で告知したこともあり、予定時間の前からシニアの方々、子供達は兄弟、姉妹で、または親子で、続々と集まってきます。前川公園では、かもめクラブの方の声掛けでCDに合わせてラジオ体操を行った後、おがきえラジオ体操の会の方による「サザエさん体操」や、体を動かすゲームも交えてさわやかな風の中、楽しく体を動かしました。



読んでおくれん 「小垣江の歴史・文化・史跡探訪」

シリーズ 99 「巡見橋の歴史」 その 2

内藤 元久

大浜道（碧南～名古屋間）は宝永7年（1710）に開かれ、その当時巡見橋が架けられた。

小垣江村歴史史料集（寛政2年～明治5年）の記録に「順見橋・巡見橋」と記される。文政10年（1827）の掛け替えでは「・・・長さ14間（25m）巾9尺（2.7m）・・・人足800人・・・」とある。安政6年（1859）「・・・巡見橋掛け替え来る3月10日より御普請取り掛かり・・・」次ページに「・・・掛け替え昨24日迄に御普請滞り無く出来・・・」と記され、その工事期間は15日間であった。明治元年（1868）に「・・・巡見橋掛け替え人足 \times 1500人右の通り当春御普請仕り候間何卒御手当仰せつけなされ・・・」と庄屋組頭連名で重原役所に諸手当の願い書きが出されている。江戸時代のどの絵図面にも巡見橋は描かれている。始め土橋であったが、明治11年（1878）の架け替えで板橋に替わった。同18年、長さ12間3尺（22m）巾9尺（2.7m）の欄干付き木造橋となり、昭和32年（1957）の架け替えしでコンクリ橋になり、平成2年（1990）新しい橋となった。

又、誓満寺に『小垣江八景』の掛軸がある。そこに猿渡川夕照として「橋な可幾 夕日の可計や 風止まる」とある。夕日が巡見橋を染め、その影が水面に長く映り一瞬風が止まった情景を現した謳である。『刈谷市史、小垣江村歴史史料集、誓満寺小垣江八景掛軸』等を参照



又、誓満寺に『小垣江八景』の掛軸がある。そこに猿渡川夕照として「橋な可幾 夕日の可計や 風止まる」とある。夕日が巡見橋を染め、その影が水面に長く映り一瞬風が止まった情景を現した謳である。『刈谷市史、小垣江村歴史史料集、誓満寺小垣江八景掛軸』等を参照

9月中旬

～10月中旬

の予定

- ・ 9月17日(日)
- ・ 9月20・10月10日
- ・ 9月24日(日)
- ・ 9月26日(火)

敬老会 ・・・・女性部・子供部・青年団・地区
交通ゼロの日・・・班長・見守り隊・パト隊・地区
秋の一斉清掃・・・地区
秋の全国交通安全運動県内一斉大監視・・・
・・・全県民・公民館